**公立大学法人首都大学東京　「大学・高専連携事業基金」事業**

**平成25年度　「グローバル・コミュニケーション・プログラム」**

**チームリーダー募集要項（産業技術大学院大学）**

１　目的

　　国際的に活躍できる人材の輩出を目指して、２大学１高専（首都大学東京（以下、「首都大」という。）、産業技術大学院大学（以下、「産技大」という。）及び産業技術高等専門学校（以下、「高専」という。））が連携して海外に踏み出す第一歩となる機会を提供する。本プログラムを修了した学生が、これをきっかけに、海外留学や海外で働くことなどに挑戦していくことを目指す。

２　プログラム概要

　　普段異なる環境で教育を受け、年齢も異なる大学生・高専生等が、チームを編成し、一緒に本プログラムを受講し、議論しながら課題に取り組む。特に海外でのプログラムは、日本語の通じない外国で、インタビュー等のフィールドワークを実施するなど、海外で体当たりで挑戦することを体験する内容であり、課題解決力（人間力）や英語を含むコミュニケーション能力を身に付けながら、国際的な感覚を養う。

３　求める人材

（１）チームリーダーとしてチームで協調しながら課題に取り組むとともに、リーダーシップの習得に意欲的な学生

（２）海外での多様な体験を通して国際的な感覚を養うことに意欲的な学生

４　対象者

１年生を対象とする。但し、首都大大学院への進学が決定している２年生及び長期履修制度による２年生も対象とする。（過去に本プログラムを受講したことのある者は除く）

５　募集人員

　３～４名程度

＜チームの構成等＞

・高専本科生から成るチームに、首都大、首都大大学院、産技大及び高専専攻科の学生をチームリーダー（１名）として加え、チームを編成する。

　　　・チームリーダーは課題学習が円滑に進むようチームのマネジメントを行う。（１チーム３～５名程度で編成）

・指導は高専教員が行う。

６　実施時期及び期間

（１）国内におけるプログラム：平成26年４月～平成26年秋

　　　（但し、リーダー研修を３月中下旬に２日間程度、先行実施予定）

（２）海外におけるプログラム：平成26年９月１日～15日のうち８日間程度

７　海外におけるプログラム実施場所

　　シンガポール共和国

８　プログラム実施内容（予定）

（１）国内におけるプログラム【事前学習】

　　　ア　課題学習

・下記の課題についてチーム毎にテーマを設定、調査・研究の実施、仮説の立案

・国内フィールドワーク

・各チーム合同による課題学習の中間発表、有識者による講義受講、都内合宿　等

＜課題＞

『東京とシンガポールの諸課題の比較による調査研究』

～持続可能な社会を実現する新都市構築に向けた提言～

・課題学習の趣旨に関しては、別紙を参照

・チーム毎の調査研究テーマは、プログラム開始時に、指導教員の指導の下、リーダーが中心となって設定

・前回の調査研究テーマ：空港機能の高度化に関する調査研究、上下水道に関する調査研究、電気エネルギー確保に対する考え方に関する調査、都市交通網の整備と災害時の対策に関する調査

イ　英語学習（コミュニケーション能力向上研修、プレゼンテーション研修）

　　ウ　リーダー研修

エ　TOEIC受験

（２）海外におけるプログラム

　　　ア　課題学習

・仮説の検証（関係者へのインタビュー等）

・英語による合同プレゼンテーション

イ　現地学生との交流

　　　ウ　企業見学・研究室（研究所・大学等）訪問

（３）国内におけるプログラム【事後学習】

　　　ア　報告書の作成、最終報告会の実施

　　　イ　TOEIC受験

スケジュール（予定）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | 全体スケジュール | 課題学習 | 英語学習 |
| H26 | 3月 | 事前学習 | ○リーダー研修  （リーダーのみ対象、中下旬に２日間程度） | ○テーマ設定案の検討 |  |
| 4月 | ○オリエンテーション | ○テーマ設定  ○現状の把握  ○課題の把握・分析、解決策の検討  ○仮説の立案  ○中間報告におけるプレゼンテーション準備 | ○コミュニケーション能力向上  （チームリーダー：英会話学校等に個人で通学）  （チームメンバー：高専内国際交流ルームでの英会話講座受講）  （週１回　計12回程度） |
| 5月 | ○TOEIC受験 |
| 6月 |  |
| 7月 | ○中間報告会 | ○中間報告会での指摘を踏まえ内容の精査 |
| 8月 | ○国内合宿  ○ガイダンス（渡航前） | ○プレゼンテーション準備及びフィールドワーク準備等  （都内での合宿、3日間程度）  ○国内フィールドワークの実施 | ○プレゼンテーション準備  （高専内国際交流ルームにて、チーム毎に受講）  （3日間程度） |
| 9月 | 海外学習 | ○シンガポール派遣 | ○課題の検証（フィールドワーク）  ○英語によるプレゼンテーション  ○研究室等見学  ○現地学生交流 |  |
| 10月 | 事後学習 | ○TOEIC受験 |  |  |
| 11月 | ○最終報告会 |  |  |

※全体スケジュールは、全員参加とする。

※課題学習は、原則としてチーム学習を基本とする。

９　経費負担

　（１）参加者個人負担

（２）以外の諸経費（交通費、食事代等）は自己負担とする。

＜例＞

ア　国内及び海外プログラム（上記８参照）期間中の交通費及び食事代

　　※国内合宿に係る交通費及び食事代を含む

イ　パスポート申請手数料

ウ　海外旅行保険料（個人用）

エ　英語学習に係るテキスト代

オ　その他個人で支出する費用

　（２）公立大学法人首都大学東京負担

ア　海外プログラムに係る渡航費及び宿泊費

イ　国内及び海外プログラムに係る研修受講料

ウ　国内合宿に係る宿泊費

エ　国内及び海外プログラムに係る諸経費（交通費、食事代を除く）

オ　TOEIC受験料

10　出願

（１）出願書類

　　ア　グローバル・コミュニケーション・プログラム参加申込書【様式１】

　　イ　志望動機【様式２】

　　ウ　学生証（写）

　　エ　成績証明書（原本）及び成績通知書（写）

　　　　※１年生は第１・第２クォーターまでの成績を提出すること。

　　オ　健康診断書

　　カ　語学能力を証明する書類（任意）

※証明する書類がない場合、提出は不要

※コピー可

※TOEIC、TOEFL iBT、IELTS等。（2012年1月以降のもの）

（２）出願方法

　　上記（１）の書類に必要事項を記入・作成の上、下記へ提出する。

　　産業技術大学院大学　管理部　管理課　教務学生入試係

（３）書類受付期間

　　　　平成26年１月６日（月）から24日（金）までの事務室の開室時間

11　選考

（１）選考方法

提出書類及び面接の結果により、総合的に判断し、プログラム参加者を決定する。

（２）面接の実施

面接は別途、日時を指定する。応募者が多数の場合、書類選考の上、面接受験者を決定する。なお、定められた面接実施日に欠席した者は応募辞退とみなす。

（３）書類選考結果及び面接実施日の周知

　　　出願書類受領時に行う。

12　結果の通知

　　合否に関わらず、応募者全員に選考結果を通知する。（２月下旬予定）

13　応募書類に記載された個人情報の利用について

　　応募で提供された個人情報は、選考の目的以外には使用しない。

14　特記事項

　 海外におけるプログラム実施前に、戦争、テロ、自然災害、感染症等が発生した場合、派遣を延期または中止することがある。また、派遣中に同様の事態となった場合においても、帰国の勧告又は命令を行うことがある。

15　その他

（１）全体スケジュールに掲載されているものについて、原則として全員参加とする。欠席の状況によっては、以後のプログラムへの参加を取り消す場合がある。

（２）本プログラム受講途中に留年が決定した者は、その後のプログラムは受講できないものとする。

　（３）当プログラムの参加を通じて、公式TOEICスコア500点以上の取得を目標とする。

　（４）本プログラムを受講した者は、その経験を活かし、次年度以降のGCP事業に協力すること。

16　問合せ先

（１）プログラム詳細について

　　　公立大学法人首都大学東京　経営企画室　企画財務課　事業評価係

　　　（電話：03-5320-7077）

（２）書類について

　　　産業技術大学院大学　管理部　管理課　教務学生入試係

　　　（電話：03-3472-7834）